

太良川柳2010

応募川柳一覧

竹崎カキや、みかんなど、太良町の名産品に対しての感情を詠んでいただきました。

今回の募集で集まった川柳はなんと二百六十。たくさんのご応募、ありがとうございました。

紅葉狩り 帰りは太良の 赤い蟹

おっとー

ワタリガニ たらふく(太良福)食って 湯に浸る

おっとー

紅葉狩り 太良で蟹と湯 真っ赤だな

おっとー

作法無用 竹崎かにに 舌づつみ

とっちゃん

太良産は 風と人との 味加え

かきくけ子

タラ町を タイラギ町と 舌覚え

かきくけ子

おいしいと 孫も喜ぶ 太良の海苔

隆太郎

食卓に 家族の笑顔 竹崎ガニ

隆太郎

竹崎カキ 太良で食べたなら 舌鼓

風水

有明の 食材はぐくむ 太良の海

花子

フライよし 鍋よし味よし 太良のカキ

田中河童

寒風に 身の引締まる 太良みかん

田中河童

海の香に 抱かれて育つ 太良のカニ

田中河童

頬ばれば 甘さ広がる 太良みかん

田中河童

婚活を カキ焼き小屋で 実らせる

浜ぶどう

タラよりも カニとカキとを 召し上がれ

浜ぶどう

タラツタラ うさぎも喜ぶ たらみかん

浜ぶどう

有明の 磯の香薫る 竹崎カキ

満風

竹崎カキ 旨さじわりと 口で生き

満風

荒波で 生きた自信の 竹崎カキ

満風

別腹は 竹崎カキの 指定席

満風

竹崎カキ 草食系の 彼も好き

満風

多良の旅 帰りはかにと 手をつなぎ

満風

かにの旬 観光客も 横歩き

満風

竹崎かに ピースしたまま ゆで上がる

満風

竹崎かに 上海蟹より まだ旨い

満風

竹崎かに 笑顔も皿に 盛り上げる

満風

たらみかん 一房一房 甘い愛

あーさまま

竹崎の カニに引かれて 太良の旅

あいらむ

おひさまの 末っ子です！と 太良ミカン

あいらむ

受験前 予防接種だ 太良みかん

さごじょう

太良みかん 人と自然の コラボ作

さごじょう

太良みかん 人生みたい 酸い甘い

さごじょう

職人の 魂の味 太良みかん

さごじょう

思い出し よだれ出てくる 太良の味

さごじょう

竹崎の カキの美味さで 貝になる

さごじょう

有明の 生まれを誇る カキとカニ

さごじょう

カニの足 すねをかじった 親にあげ

さごじょう

カキの味 覚えて父と 太良の旅

さごじょう

竹崎の カニが妻さえ 黙らせる

さごじょう

竹崎カキ 初めてなのに 懐かしい

さごじょう

竹崎の カキだ長生き したくなる

さごじょう

甘いなど 言われる俺も 太良みかん

さごじょう

早口で 竹崎カキと 言えるかい？

竹立て掛けた

見かけより 食べたたら（太良）美味しい 太良の牡蠣

香月

見かけよし 食べたたら（太良）尚よし 太良の牡蠣

香月

探（佐賀）しても 食べたい太良の 牡蠣と蟹

香月

食わずして 前には進めぬ 竹崎かに

さんぽみち

太良の町 エビまでエコカー くるまえび

さんぽみち

たらみかん 食べたらびつくり このうまさ

さんぽみち

潮風の ゆりかご育てた 太良みかん

満風

おいしさが 恋しさになる 太良みかん

満風

太良みかん 元気な朝の ビタミン剤

満風

太良みかん 食べて五感が 冴えてくる

満風

出身地 問われ胸張る 太良みかん

満風

すべすべの 肌の決め手は 太良みかん

満風

気分爽快 味すつきりと 太良みかん

満風

食べてみんなしゃい 旨いよ藤津の 太良みかん

満風

恋人よ 渡ってこいよ 僕の引力

ホスピちゃん

干満に 乗じて太良へ ワタリガニ

ホスピちゃん

食通に 目を付けられる 太良のカニ

ホスピちゃん

潮風で 美味さ倍増 太良みかん

紫敷布

太良みかん 減れば増してく 笑顔かな

紫敷布

太陽が ぎゅっと詰まった 太良みかん

紫敷布

食う人も 泣く子も黙る 竹崎がに

のんべえ

柿を剥く 積もる話は さておいて

ゆとり路

柿ガブリ もう泣いたこと 忘れてる

ゆとり路

竹崎の 友の癖字で カキ届く

ゆとり路

竹崎の カキ仏壇に 朱を灯す

ゆとり路

竹崎の カキだな父の 甘い顔

ゆとり路

竹崎の カキに免じて 仲直り

ゆとり路

竹崎カキ 生が旨いと 萩野シェフ

老虫

太良ガニは 緑から赤 食べ頃だ

山縣敏夫

太良町は 月の引力 海の幸

山縣敏夫

カキとカニ 太良の名物 有明産

山縣敏夫

太良の街 ミカンの花が 咲いている

山縣敏夫

カキ食べば 潮風吹くや 太良の街

山縣敏夫

たらみかん みんな優しい 顔になる

元さが人

見習いたい 竹崎カキの 活きのよさ

元さが人

カキ仕分け 俺の出番と 軍手する

元さが人

来たら見たら 口に入れたら たらみかん

火星人

みかん畑 まるで有明 地中海

夏木きりん

食べたらと 言われ食する たらん牡蠣

H I K K Y

ジューシーで 太陽いっぱい たらミカン

小田虎賢(たけとし)

ぷりぷりで 腹いっぱい の 太良のカキ

小田龍聖（みさと）

有明の 湯にお日様と 混浴し

小田和子（かずこ）

太良町の 竹崎カニが がばいよか

小田慶喜（よしのぶ）

自慢はネ みかんとカニと 青い海

落犀庵

有明の 豊かな恵み 海苔とカニ

落犀庵

白浜で 甲羅ぼしする ワタリガニ

落犀庵

鯛平目 鱸に蟹と うまい海苔

落犀庵

竹崎の カニが背負った 太良みかん

落犀庵

大潮で ボードにのった ワタリガニ

落犀庵

有明の 箱入り娘 太良みかん

落犀庵

太良の幸 うるさい父も 文句なし

白うさぎ

太良の幸 親も子もない 箸五膳

白うさぎ

湯上りの ビールですすむ 太良の幸

白うさぎ

有明の 海に向かいて カキを焼く

白うさぎ

牡蠣食べば 鐘が鳴るなり 円満寺

白うさぎ

おもてなし 料理・眺めも 五つ星

白うさぎ

満たされる 旅なら味なら 太良がいい

休火山

太良に来て 出会った味と いい景色

休火山

立ち寄れば 幸せどっさり 太良の味

休火山

竹崎カキ たらふく食べた 太良の旅

まっこっちゃん

太っても 良いと許可出て カニの杯

まっこっちゃん

カキに愛 カニに恋して 嫁にゆく

春爺

愛に恋 カニが呼んでる 太良がすき

春爺

カキもいい 陸（おか）に上がれば たらみかん

春爺

大海を ぎゅっと詰め込む 太良のカキ

おぼろ月夜

大好きな 甘いみかんは 太良育ち

海彦山彦

蟹と牡蠣 有明育ちは がばいよか

海彦山彦

海原も 丘がなくても みかん咲く

泰平楽

チャレンジの 牡蠣グラタンが 評を取り

泰平楽

牡蠣みかん 食べて知ったよ 佐賀の風

泰平楽

身を振って 卵を放つ 蟹を知る

泰平楽

いっぺんは 太良に行かな 損するよ

カラリ

共食いと 妻が冷やかす たらハム

散歩

初恋が 口に広がる たらいちご

散歩

たらみかん 一度食べたら 止まらない

散歩

太良カキにバターを塗れば夢心地

散歩

潮の香を ご飯に乗せる 海苔弁当

散歩

シヤコ食べて ママの車庫入れ 上手くなり

散歩

タイラギを 食べてもならぬ 二枚舌

散歩

美味しさに カニも子どもも Vサイン

散歩

有明の 豊富な恵み 託羅の郷

まさくん

竹崎の カキが自慢の 肥前太良

まさくん

たらみかん 食べてほっぺを 持ち上げる

しかおとこ

有明の 海が育む 竹崎カキ

しかおとこ

夢起点 長崎本線 多良の駅

paipai ibuchin

太良町は カニもみかんも がばいよか!

夢旅人

カキ焼きに 夢中なボクを キミは妬き

夢旅人

おばちゃんを 竹崎カニが 黙らせる

夢旅人

タイラギに 足止めされる 有明海

夢旅人

太良町は 人情とカキ 厚い町

夢旅人

太良町で 生れた子どもは タラコなの?

窓辺舎人

太良がきが 味引き締める 母の鍋

四季

自慢気に 太良がき入れる 鍋奉行

四季

晩酌に かにシウマイが 色添える

四季

たらみかん お肌も中味も 自慢物

四季

どこよりも 先にメールで たらみかん

四季

有明の 恵み太良福 いただきます

伯林

栄養と 愛がいっぱい 太良の幸

伯林

胃袋が 嬉しい完熟 太良みかん

なほばば

竹崎の カキ食べ美肌 ゲットする

なほばば

大好きな 太良町みかんを 大人食い

なほばば

のどうなる 太良町みかんに 星三つ

なほばば

一粒の つもりが一皿 佐賀のカキ

なほばば

がばいよか 太良町グルメに アゴ落ちる

なほばば

君の前 竹崎かにも僕も 真っ赤

ちゆう太

太良の町 「海のみルク」で 育てられ

温州みかん

シーズンは 医者も真っ青 牡蠣の町

温州みかん

牡蠣・みかん たらふく(太良福)食って 年忘れ

温州みかん

有明の 月に引かれて 太良めぐり

窓辺舎人

竹崎カキ またよろしくと お礼状

ルーク

竹崎カニ 食べて忘れる 嫌なこと

ルーク

居るだけで 嬉しい君と 竹崎カニ

ルーク

たらみかん こたつが君の 指定席

ルーク

募集中 たらみかんのよな お嫁さん

ルーク

有明の お日様のよな たらみかん

ルーク

君の名は? 二度見で確認 たらみかん

ルーク

海山の 恵みたっぷり 太良の幸

かるら

海山の 幸を合わせて 太良の幸

かるら

神秘なる 水が育む 太良の幸

かるら

行くつきやない 国道沿いの カキ天国

紅玉

並んでも 食べたい太良の カキやカニ

紅玉

海に山 両手に花の 太良名産

紅玉

積まれてく 竹崎カニの バケツ山

紅玉

太良みかん 一度食べれば リピーター

紅玉

これ食べたなら あれも食べたなら 美味いったら

パパラッチ

泥餅が 無病息災 搗きあげる

ココム

見において 食べにおいてよ 太良の町

ココム

竹崎の カニがおいしさ 全部詰め

ココム

太良の女(ひと) みかんを食べて 美肌持ち

夕顔

人情と おいしさ詰めた 太良みかん

はる

不景気は 全部飛んでけ 種飛ばし

はる

見において 月の引力 見れる太良

はる

この香り 今年も佐賀の 太良のもの

もくず

太良行けば 会いたい笑顔が 増えてゆく

レディグレイ

月感じる 海もおいしい 海もある

レディグレイ

福が来る 太良でたらふく 幸食べて

レディグレイ

太良自慢 住んでなくても したくなる

レディグレイ

きんしゃいと 言っているよな 太良の蟹

北の蛸

有明の 笑顔満開 太良の牡蠣

北の蛸

有明の ビタミン美人 太良みかん

北の蛸

みかん食べ 笑顔溢れる 太良の町

たかさま

風と共 タラのテーマに みかん揺れ

たかさま

幸せを 太良ふく食べて 暮らす町

たかさま

潮風の 音が聴こえる 太良みかん

はるひろ

竹崎は 温泉一杯 カニ一杯

ぼのぼの

太良が生む 福をたらふく 食べたいな

ぼめり

太良みかん 有明海を 見て育つ

右田俊郎

さが美人 甘さ色つや 日本一

右田俊郎

たかひめに 惚れてまた書く 注文書

右田俊郎

有明の 光りと風の 太良みかん

右田俊郎

冬ごたつ 海水みかんが 和をつなぐ

キング・コングウ

竹崎の カニを食べ食べ ピースサイン

キング・コングウ

かにつこを 真似て頬張る ちっちゃな手

キング・コングウ

たらみかん 甘さはまさに ハネムーン

キング・コングウ

竹崎ガニ 焼いても茹でても クセになる

キング・コングウ

もう一杯！ 竹崎ガニの 甲羅酒

キング・コングウ

かにせんべい 旨さ大きさ 太鼓判！

キング・コングウ

たらみかん 食べて新婚 想いだし

キング・コングウ

晩ごはん 竹崎ガニなら 皆揃う

キング・コングウ

甘さなら 新婚に負けぬ たらみかん

キング・コングウ

甲羅酒 ほろ酔い冷ましに たらみかん

キング・コングウ

潮風に 彩よし香よし 太良みかん

川崎芳子

褒められて 今年も贈る 太良みかん

川崎芳子

見るほどに 太良の顔なる しおまねき

川崎芳子

旦那より 太良のみかんが 好きになり

川崎芳子

潮風に 牡蠣焼き匂ふ 太良の町

川崎芳子

宅配の荷より こぼるる 太良みかん

川崎芳子

太良の味 潮も心も 満たすカニ

おたふくまめ

カキとカニ おいしさ丸ごと い太良きます

おたふくまめ

体じゆう ビタミンの風 太良みかん

おたふくまめ

ふる里の 母の香りの 太良みかん

おたふくまめ

お料理に どのカニより 太良のカニ

ちび丸

カキ・みかん ふとか、うまかヨ 太良産は

みなま

カキ・みかん たらふく食べて みな笑顔

みなま

引き付ける 月の力か 名産品

みなま

やっといま 手の出る値段 太良みかん

西村麗子

同じ木の 密柑でさえも 違う味

西村麗子

牡蠣焼きの 匂いが人を 呼びとむる

西村麗子

皺みたる 吾が手のような 古みかん

西村麗子

浜で焼く 鮭五朗なら 国産か

西村麗子

串焼きに されても笑う 鮭五朗

西村麗子

手伝いは 口実にして 蜜柑狩

西村麗子

話より 食気が先か 蟹せせる

西村麗子

横這いの 蟹の出迎え 太良の宿

櫻井則子

民謡の 新太郎さんも 蟹自慢

櫻井則子

煮て焼いて 食べれるとは 知らぬ蟹

櫻井則子

赤くなり 客をもてなす 蟹の味

櫻井則子

焼き牡蠣に 心もあそぶ 太良の海

櫻井則子

心より もてなす牡蠣焼き 太良の味

櫻井則子

小包みを 開ける喜び 太良名品

ゆずママ

太良の味 毎年届く ふるさと便

ゆずママ

牡蠣食えば 鐘が鳴るなり かんかんか〜ん

中年やまめ

太良に行く みかん小町に 会いに行く

中年やまめ

パワスポの 海中鳥居 たらのカキ

富の山

おいしさは 月の引力 たらのカニ

富の山

カニやカキ みかん太良福 太良のつき

らくちゃん

太良町に カマン太良福 幸が有る

らくちゃん

山海の 幸を育む 太良の月

らくちゃん

太良みかん 獲れるところは たらだけよ

佐藤正也

有明の 宝の海の 牡蠣を打つ

木室栄子

有明海 宝の牡蠣を 打ちにけり

木室栄子

燦燦と 湾に抱かれし 太良蜜柑

木室栄子

尖閣に 談論風発 蟹の宿

橋村和代

竹崎の 蟹が待つてる クラス会

橋村和代

牡蠣焼きの バイト俺には 匂いだけ

橋村和代

牡蠣を焼く 匂いはバイトの 腹に沁みる

橋村和代

カップルに 牡蠣焼く幸せ アルバイト

橋村和代

太良通い お目当てタイラギ 太良みかん

ボケ爺さん

佐賀米の 焼き海苔むすび 太良で食え

ボケ爺さん

受験生 脳みそ増やしは カニの味噌

ボケ爺さん

カキ食えば 幸せの鐘 たらの里

濱崎喜美子

カキ焼と みかんにタイラギ 美味しカニ

濱崎喜美子

わが郷の カキ焼街道 ゆく煙

濱崎喜美子

太良町の 月と仲良く カニ食う客

濱崎重之

たらん町 海苔ヒビ照らす 月灯り

濱崎重之

じいちゃんが 足までしやぶる 竹崎カニ

濱崎翔